



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日

上場会社名 株式会社 永谷園ホールディングス 上場取引所 東
コード番号 2899 URL <https://www.nagatanien-hd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永谷 泰次郎
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部経理財務部長 (氏名) 江口 輝 TEL 03-3432-3105
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	85,992	3.8	5,832	18.7	6,050	18.6	3,762	15.4
2023年3月期第3四半期	82,809	14.8	4,913	△1.5	5,101	△14.3	3,262	△7.4

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 6,907百万円 (△7.4%) 2023年3月期第3四半期 7,457百万円 (52.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	215.33	—
2023年3月期第3四半期	185.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	101,180	46,268	42.5
2023年3月期	96,615	40,066	38.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 43,048百万円 2023年3月期 37,565百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	15.50	—	15.50	31.00
2024年3月期	—	15.50	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	15.50	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	113,800	3.0	5,900	11.4	5,600	4.8	3,600	15.6	206.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、(添付資料) 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	19,138,703株	2023年3月期	19,138,703株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,664,075株	2023年3月期	1,663,619株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	17,474,879株	2023年3月期3Q	17,576,578株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、(添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、外食や旅行を中心に個人消費が持ち直した一方で、不安定な国際情勢や急激な為替相場の変動等、先行き不透明な状況で推移いたしました。食品業界においては、原材料やエネルギー価格の高騰による物価上昇が相次ぎ、お客様の節約、低価格志向が高まる等、厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは、「企業戦略の充実」と「新価値提案力の更なるアップ」を経営課題として企業活動を行ってまいりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高85,992百万円（前年同期比3.8%増）となりました。利益面については、営業利益5,832百万円（同18.7%増）、経常利益については、6,050百万円（同18.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益については、3,762百万円（同15.4%増）となりました。

以下、セグメントの状況は次のとおりであります。

①国内食料品事業

永谷園では、お客様の時短調理志向の高まりを受け、電子レンジでパスタとソースが一度に調理できる「パキットシリーズ」や、電子レンジで加熱するだけで満足感のあるおかずが出来上がる惣菜の素「レンジのススメシリーズ」を幅広く展開し、新たな需要の創出を図ってまいりました。特に「パキットシリーズ」は、その画期的な技術が認められ、日経トレンディ「2023年ヒット商品」に選ばれるとともに、多くの賞を獲得いたしました。さらに、様々なメディアに取り上げられ、多くのお客様にご好評いただきました。また、「松茸の味お吸いもの」の販売促進策として、スーパーマーケット店頭での小型サイネージにて、寿司レシピ等の動画を放映し、家族団らんメニューとして登場頻度の高い寿司との相性の良さを訴求いたしました。加えて、当期発売した「パリサクかつおふりかけ」が多くのお客様にご好評頂き、売上拡大に貢献いたしました。

以上の結果、国内食料品事業の売上高は43,319百万円（前年同期比1.8%増）となりました。

②海外食料品事業

Chaucerグループでは、フリーズドライの既存商品の品質向上及び拡販に努めるとともに、顧客ニーズに合わせた新商品開発にも取り組んでまいりました。米国市場では、インフレにより消費傾向が低価格帯にシフトする中で、主に大手小売企業との関係強化によりPB商品の拡販に努めてまいりました。欧州市場では、グローバル企業との取引拡大による新商品投入を進めてまいりました。アジア市場では、主に飲料・製菓市場での売上拡大に努めてまいりました。

また、MAIN ON FOODSグループでは、米国市場における麺商品及び粉商品のサプライヤーとして、多数の外食企業・食品メーカー及び小売企業との着実な取引拡大に努めてまいりました。開発面においても、畜肉取り扱いの認証取得により商品ラインナップの拡充を図るとともに、多様な健康ニーズに対応すべく、機能性食品やミールキット等の新商品開発にも取り組んでまいりました。

以上の結果、海外食料品事業の売上高は31,466百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

③中食その他事業

2023年9月1日をもって商号を変更したDAY TO LIFEグループ（旧・麦の穂グループ）では、主力ブランドであるシュークリーム専門店「ビアードパパ」にて、原材料高騰等の影響を受けながらも、季節限定シュークリームの発売や各販売促進策を進め、顧客獲得に取り組んでまいりました。11月には、長年培ってきた包あん技術によって生まれるサクサク食感のオリジナルシュー生地の中に、お芋らしいほくほく食感と濃厚しっとり食感のスイートポテトを2層に重ねて焼き上げた「ベイクドスイートポテトシュー」を発売し、売上拡大に努めてまいりました。また、「ビアードパパ」の人気商品5個を特別価格にてご購入いただける「ブラックフライデーセット」を期間限定で販売するとともに、「ビアードパパ」のモバイルアプリにて、当該セットをさらにお得にご購入いただける限定クーポンを配信する等、需要の喚起を図ってまいりました。

以上の結果、中食その他事業の売上高は10,957百万円（前年同期比17.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期第連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より4,565百万円増加し、101,180百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末より1,636百万円減少し、54,912百万円となりました。これは主に、1年内償還予定の社債が減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は主に、利益剰余金が増加したことにより46,268百万円となりました。この結果、純資産から非支配株主持分を控除した自己資本は、前連結会計年度末より5,482百万円増加の43,048百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ3.6ポイント上昇の42.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの第3四半期連結累計期間の業績は、概ね当初計画の範囲内で推移していることから、2023年5月12日発表の業績予想に変更はありません。なお、今後、業績予想の修正が必要であると判断した場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,834	8,537
受取手形及び売掛金	15,968	18,684
商品及び製品	7,482	7,955
仕掛品	1,449	1,698
原材料及び貯蔵品	7,068	6,266
その他	1,840	1,528
貸倒引当金	△87	△80
流動資産合計	42,556	44,591
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,871	21,145
減価償却累計額	△13,237	△13,540
建物及び構築物 (純額)	7,634	7,604
機械装置及び運搬具	34,554	38,343
減価償却累計額	△23,307	△25,490
機械装置及び運搬具 (純額)	11,247	12,852
土地	11,108	11,005
リース資産	2,603	3,072
減価償却累計額	△916	△1,138
リース資産 (純額)	1,687	1,934
建設仮勘定	1,205	1,837
その他	2,808	2,624
減価償却累計額	△2,291	△2,063
その他 (純額)	516	560
有形固定資産合計	33,399	35,795
無形固定資産		
のれん	9,309	9,387
その他	252	246
無形固定資産合計	9,562	9,634
投資その他の資産		
投資有価証券	7,460	7,839
その他	3,665	3,347
貸倒引当金	△29	△28
投資その他の資産合計	11,096	11,158
固定資産合計	54,058	56,588
資産合計	96,615	101,180

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,205	7,985
電子記録債務	2,584	2,858
1年内償還予定の社債	5,000	—
短期借入金	8,779	10,500
未払法人税等	797	1,879
賞与引当金	815	455
その他	9,224	9,594
流動負債合計	34,407	33,274
固定負債		
社債	10,060	10,060
長期借入金	7,460	6,400
役員退職慰労引当金	138	142
退職給付に係る負債	148	131
資産除去債務	286	295
その他	4,047	4,607
固定負債合計	22,141	21,638
負債合計	56,548	54,912
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,502	3,502
資本剰余金	3,759	3,759
利益剰余金	32,690	35,916
自己株式	△3,231	△3,232
株主資本合計	36,721	39,946
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,064	2,201
土地再評価差額金	△2,602	△2,602
為替換算調整勘定	1,503	3,620
退職給付に係る調整累計額	△121	△117
その他の包括利益累計額合計	844	3,101
非支配株主持分	2,500	3,219
純資産合計	40,066	46,268
負債純資産合計	96,615	101,180

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	82,809	85,992
売上原価	58,555	59,205
売上総利益	24,253	26,787
販売費及び一般管理費		
退職給付費用	144	180
賞与引当金繰入額	246	271
給料及び賞与	5,653	6,175
運賃及び荷造費	3,419	3,420
その他	9,876	10,907
販売費及び一般管理費合計	19,340	20,954
営業利益	4,913	5,832
営業外収益		
受取利息	0	20
受取配当金	157	220
為替差益	215	229
その他	132	134
営業外収益合計	506	603
営業外費用		
支払利息	214	301
その他	103	84
営業外費用合計	318	385
経常利益	5,101	6,050
特別利益		
投資有価証券売却益	13	44
子会社株式売却益	—	401
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩益	43	—
特別利益合計	57	445
特別損失		
減損損失	2	7
子会社清算損	24	—
事業撤退損	23	2
店舗閉鎖損失	1	—
特別損失合計	51	10
税金等調整前四半期純利益	5,107	6,485
法人税等	1,563	2,202
四半期純利益	3,543	4,283
非支配株主に帰属する四半期純利益	281	520
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,262	3,762

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	3,543	4,283
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62	136
為替換算調整勘定	3,861	2,484
退職給付に係る調整額	△10	3
その他の包括利益合計	3,913	2,624
四半期包括利益	7,457	6,907
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,596	6,019
非支配株主に係る四半期包括利益	860	888

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内食料品 事業	海外食料品 事業	中食その他 事業	計				
売上高								
顧客との契約から生 じる収益	42,566	30,795	9,298	82,661	148	82,809	—	82,809
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	42,566	30,795	9,298	82,661	148	82,809	—	82,809
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	0	0	74	74	△74	—
計	42,566	30,795	9,299	82,661	222	82,884	△74	82,809
セグメント利益	3,557	1,810	551	5,919	125	6,044	△1,131	4,913

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業であります。

2 セグメント利益の調整額△1,131百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,125百万円、セグメント間取引消去△5百万円が含まれております。全社費用は、主に持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内食料品 事業	海外食料品 事業	中食その他 事業	計				
売上高								
顧客との契約から生 じる収益	43,319	31,466	10,957	85,743	—	85,743	—	85,743
その他の収益	—	—	—	—	249	249	—	249
外部顧客への売上高	43,319	31,466	10,957	85,743	249	85,992	—	85,992
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1	0	1	74	75	△75	—
計	43,319	31,467	10,957	85,744	323	86,068	△75	85,992
セグメント利益	3,685	2,792	521	6,999	232	7,231	△1,399	5,832

- (注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業であります。
- 2 セグメント利益の調整額△1,399百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,393百万円、セグメント間取引消去△5百万円が含まれております。全社費用は、主に持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。